

審議会会議録

会議名称	平成28年度 伊達市まち・ひと・しごと創生有識者会議		
議 題	<p>議事</p> <p>報告事項1 成果検証グループの設置について 報告事項2 成果検証グループ会議の開催結果について 報告事項3 戦略のスケジュールと実施状況について</p> <p>協議事項1 平成27年度実施事業の成果検証結果について 協議事項2 施策の見直し及び総合戦略の改訂等の必要性について</p>		
開催日時	平成28年9月1日（木）18:30～19:15		
場 所	伊達市役所 2階会議室A・B		
出席委員	石井吉春 委員、渡邊源之 委員、宇佐美雅昭 委員、大矢大介 委員、的場重一 委員、毛利元幸 委員、川村 守 委員、杉原 茂 委員、栗山潤一 委員、佐野真三 委員、小畑次男 委員、矢野 ゆうき 委員、尾川圭延 委員（計13名）		
	所管部課名	企画財政部企画課	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者人数	3名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【審議会の概要】</p> <p>1. 開 会（事務局：企画課長）</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. 新任委員紹介</p> <p style="margin-left: 20px;">●事務局</p> <p style="margin-left: 40px;">・伊達市PTA連合会を代表して佐藤匡則委員、北海道伊達高等学校長の天田光彦委員、北海道伊達緑丘高等学校の吉瀬献策委員が今回より委員に就任した。</p> <p>4. 座長あいさつ</p> <p style="margin-left: 20px;">■座長</p> <p style="margin-left: 40px;">・今年度から検証過程に入る。これからの議論が重要であり様々な視点でご意見をいただき議論を進めたい。</p> <p>5. 議 事</p> <p style="margin-left: 20px;">報告事項1 成果検証グループの設置について 報告事項2 成果検証グループ会議の開催結果について</p> <p style="margin-left: 20px;">【事務局より説明】 【質疑・意見交換】なし</p>			

報告事項3 戦略のスケジュールと実施状況について

【事務局より説明】

【質疑・意見交換】なし

協議事項1 平成27年度実施事業の成果検証結果について

協議事項2 施策の見直し及び総合戦略の改訂等の必要性について

【事務局より説明】

【質疑・意見交換】

■座長

- ・事業成果の検証結果や総合戦略の改訂等は必要ないとの原案に対して、質問、意見等はありませんか。

□委員

- ・農家の選択肢を増やすため、まだ産地化されていない野菜にも新たに取り組んではどうか。
- ・地球温暖化の進展で野菜生産の北限が上昇している。新しい野菜は面白いのではないか。

■座長

- ・高糖度トマトに目処がつけば次はその議論になる。ご意見を温めておいていただきたい。

□委員

- ・新規就農者の意見を聞きながら、産地化を目指す農産物の枠を広げる必要があるのでは。道民や国民に人気のある野菜の産地化に取り組むことが必要ではないか。

■座長

- ・まずは多品種を売りにすることを追及し、上手くいかなければ別の道を探すことになる。難しいがチャレンジする価値はあると思う。

□委員

- ・そもそも地方版総合戦略は人口減少をどう止め、どう移住者を増やすかが原点である。目標達成を目指すための施策をどう組み入れるかを一度事務局として整理すべきである。
- ・また、実際のプレーヤーの声を施策に反映させることも大切である。

■座長

- ・今後実施する事業では、誰がプレーヤーとなるのかという事業が中心になってくる。K P I の達成度合いのみでは効果が測れない事業もある。施策自体がどう本来の目的に即しているかという目での評価をこの会議ではやっていきたい。
- ・事業成果は成果検証グループでも踏み込んだ議論を行っており、事務局案どおり決してよろしいか。戦略の改訂等についても、現段階では必要なしとしてよろしいか。

□全委員

- ・はい

5. その他

●事務局

- ・次回の会議開催は未定。必要に応じてご案内するのでその際にご参集をお願いしたい。

6. 閉 会